

入学試験

一般入試の他、外国人留学生入試、社会人入試を設け、9月と2月の2回入試を実施します。

9月試験

出願期間 8月

試験 9月

試験科目

一般入試 専門科目、英語、面接
外国人留学生入試 専門科目、面接
社会人入試 小論文、面接

2月試験

出願期間 1月

試験 2月

試験科目

一般入試 専門科目、英語、面接
外国人留学生入試 専門科目、面接
社会人入試 小論文、面接

※【駒澤大学在籍者】推薦制度あり
※出願時にメディア産業論、メディア文化論、メディア情報論のいずれかを選択して頂きます。
※詳細はWebサイトを御覧ください gmsweb.komazawa-u.ac.jp/gsgm/



入学定員

修士課程 10名

博士後期課程 3名

修業年限

修士課程 2年

博士後期課程 3年



第1研究館(院生室があります)

修学サポート

- 学生支援機構の奨学金が受けられます。成績優秀者は、返還免除・一部返還免除が受けられます。
- 学部教育のT A (Teaching Assistant) 等を勤めることができます。



院生研究室(修士課程)



院生研究室(博士後期課程)

問い合わせ先

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学大学院グローバル・メディア研究科

Email: info-GMGraduate@komazawa-u.ac.jp

【グローバル・メディア研究科 Web サイト】 gmsweb.komazawa-u.ac.jp/gsgm/

facebook
GMS FACEBOOK
講演会等のおしらせや、活動報告といった
タイムリーな情報を掲載しています。

Be different, Be global

Graduate School of Global Media,
Komazawa University

駒澤大学 大学院

グローバル・メディア 研究科

修士課程, 博士後期課程
Master Course, Ph.D. Course

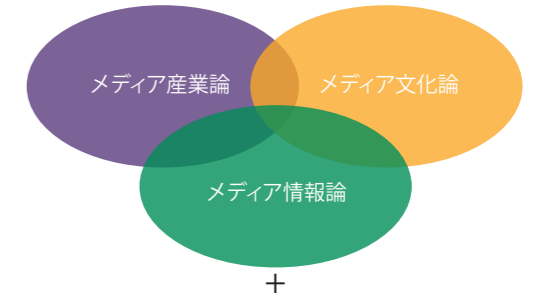
駒澤大学大学院「グローバル・メディア研究科 (Graduate School of Global Media)」はグローバルに
発展するメディアの最新動向に関する幅広い知識と実践的な英語力を有し、企業、政府・自治体、NPO、
国際機関などで活躍する専門的な人材の育成を目指して2013年4月に開設されました。さらに、文部
科学省より認可を受け、2015年4月には博士後期課程も開設しました。夜間や土曜日にも開講するなど、
学生のみならず社会人にも広く門戸を開放しています。



カリキュラムの概要

学際的な研究方法と実践的な英語を修得したうえで、産業論、文化論、及び情報論を幅広くカバーするメディアに関する多様な専門科目を履修し、研究指導科目において専門性を深めることを目指します。

- 修士課程基礎科目：研究方法論、実践的な英語を修得するためのリサーチ・イングリッシュ（ライティング、プレゼンテーション）などを配置
- 修士課程講義科目：メディアに関する産業論、文化論、及び情報論を幅広くカバー
- 博士後期課程講義科目：各分野の専門性を高める授業
- 修士課程および博士後期課程の研究指導科目：3分野ごとのグループ指導制



研究方法論、実践的な英語を修得するためのリサーチ・イングリッシュ(ライティング、プレゼンテーション)

コース概要

グローバル・メディア研究科には、修士課程(2013年4月～)と、博士後期課程(2015年4月～)があります。

- 高度な専門的な職業人・高度な専門的研究・開発能力を有する職業人の育成**
修士課程では、学際的なアプローチによるメディア研究を深め、社会経済のグローバル化に資する高度な専門的職業人の育成を目指します。博士後期課程では、メディアに関する学際的な専門知識の上に立った高度な専門的研究・開発能力を有する職業人の育成を目指します。
- 独創的なカリキュラム編成**
メディア産業論、メディア文化論、およびメディア情報論の3つの専門分野と3分野を融合する学際的な思考能力を高めるプログラムを展開します。
- 研究指導はグループ制**
3つの分野毎に、複数の教員がグループ制で指導します。
- 海外経験豊富な教員による指導**
多様な実務経験と海外経験に富んだ教員、外国人教員が教育に当たります。
- 実践的な英語能力の涵養**
ネイティブ教員を中心とした、実践的な英語指導が行われます。
- 夜間・土曜日を中心とした履修**
社会人の方は、夜間・土曜を中心とした履修も可能です。

カリキュラム一覧

修士課程

【講義科目】

基礎科目	科目名	単位	展開科目(産業論分野)	科目名	単位
	グローバル・メディア研究特論	2		グローバル文化論	2
	グローバル・メディア研究方法特論	2		グローバル映像文化論	2
	リサーチイングリッシュ(ライティング)	2		グローバル・メディア社会史	2
	リサーチイングリッシュ(プレゼンテーション)	2		グローバル・リレーションズ論	2
展開科目(産業論分野)	科目名	単位	展開科目(情報論分野)	科目名	単位
	グローバル・メディア産業論	2		メディア・コミュニケーション特論	2
	メディア・ファイナンス論	2		グローバル・メディア文化特別研究I-1	2
	グローバル・マーケティング論	2		グローバル・メディア文化特別研究I-2	2
	グローバル・産業経済論	2		グローバル・メディア文化特別研究II-1	2
	情報法研究	2		グローバル・メディア文化特別研究II-2	2
	グローバル・経済政策論	2			

【演習科目・研究指導科目】

演習科目(産業論分野)	科目名	単位	演習科目(情報論分野)	科目名	単位
	グローバル・メディア産業特別研究I-1	2		グローバル・メディア情報特別研究I-1	2
	グローバル・メディア産業特別研究I-2	2		グローバル・メディア情報特別研究I-2	2
	グローバル・メディア産業特別研究II-1	2		グローバル・メディア情報特別研究II-1	2
	グローバル・メディア産業特別研究II-2	2		グローバル・メディア情報特別研究II-2	2
演習科目(文化論分野)	科目名	単位			
	グローバル・メディア文化特別研究I-1	2			
	グローバル・メディア文化特別研究I-2	2			
	グローバル・メディア文化特別研究II-1	2			
	グローバル・メディア文化特別研究II-2	2			

【課程修了の要件・学位】
修士課程に2年以上在籍し、所定の専攻科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない(単位の修得については、所定の必修科目4単位、リサーチイングリッシュ(ライティング)、リサーチイングリッシュ(プレゼンテーション)から2単位以上、展開科目から16単位以上、研究指導科目1分野8単位を含む合計30単位以上を修得すること。但し、展開科目は各分野から2単位以上を修得すること)。

学位：修士(メディア学)(Master of Media Studies)

博士後期課程

【講義科目】

展開科目(産業論分野)	科目名	単位	展開科目(文化論分野)	科目名	単位
	グローバル・メディア制度論特殊研究	2		グローバル文化論特殊研究	2
	メディア・ファイナンス論特殊研究	2		グローバルリレーションズ論特殊研究	2

【演習科目・研究指導科目】

展開科目(産業論分野)	科目名	単位	展開科目(文化論分野)	科目名	単位
	グローバル・メディア産業研究指導I~IV	各2		グローバル・メディア文化研究指導I~IV	各2
	展開科目(情報論分野)	科目名	単位		
	グローバル・メディア情報研究指導I~IV	各2			
	展開科目(情報論分野)	科目名	単位		
	グローバル・メディア情報研究指導I~IV	各2			

【課程修了の要件・学位】
博士後期課程に3年以上在籍し、所定の必修科目18単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。

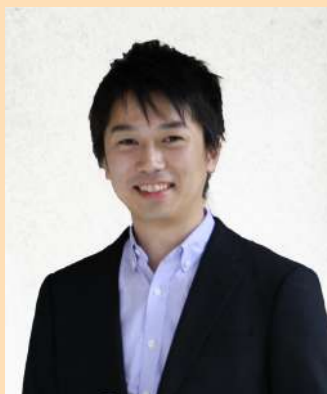
学位：博士(メディア学)(Ph.D. in Media Studies)

主な進路

駒澤大学大学院グローバル・メディア研究科修士課程修了者の主な進路(2015年度以降)

- IBMビジネスコンサルティングサービス株式会社
- テクバン株式会社
- (株)グローバルパートナーズ
- Samantha Thavasa Japan Limited
- ドコモ・テクノロジー株式会社
- 駒澤大学大学院GM研究科 博士後期課程

修了生たちの声



博士後期課程 本多賢さん

私のテーマは、災害時の情報システムの実現に関する研究で、情報学がメインの分野ですが、社会学や心理学などといった他分野からの視点が大きく関係する研究であるため、学際的に様々な分野の研究ができるこの研究科を志望しました。まだ新しい研究科ということもあり、かなり手厚い指導が受けられるという点は嬉しいところです。修士課程同様、博士後期課程でも海外学会で研究発表を続けています。

修士課程 林明月さん

複数の教授から多様な視点に立った指導が受けられることはこの研究科を志望する決め手でした。一年次に履修した産業論、文化論、情報論の授業で企業経営、社会文化的影響、情報技術動向を深く理解できました。私は産業論を専攻し、日本の地域経済について研究しています。46道府県公式キャラクターの特徴をデータ化し、多変量解析手法によってキャラクターと地域認知度などの結びつきを調べています。修了後は、学際的な専門知識を生かし、グローバルな視点から社会に貢献することを目指しています。

